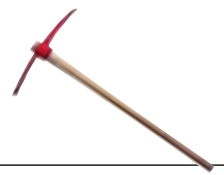




昭和30年頃の初代「須井トンネル」。(田里友一氏蔵)

CHALLENGER

[挑戦者たち] 16



Tajima coast road

但馬海岸道路

竹野浜にそつと佇む「はぐくみの碑」、
日本海を望む風光明媚な但馬海岸道路。
陸の孤島と言われた断崖絶壁の場所で、
命がけの難工事に挑んだ男たちがいた。

ある句碑のじつ

平成18年夏、豊岡市竹野町竹野浜。
海水浴客で賑わう砂浜とは対照的
に、ひっそりと佇む句碑。

「北風や心して吹け子らのため」
碑には、子どもを想う熱い心が刻ま
れていた。汗や力仕事とは縁遠い、風
流人が詠んだと思わせる優しい句。
しかし、この作者が命がけの工事に
挑んだという事実を知る人は少ない。
「はぐくみの碑」。それは、今から47年
前、断崖絶壁の岩肌と格闘した男た
ちの想いが込められた石碑である。

「犬道」を往く

「宇日、田久日を見なことがあるか」
平家の落人伝説が残る兵庫県北
部の村、豊岡市竹野町宇日・田久日。
昭和40年に但馬海岸道路が開通す

るまで、この地区は舟で行くか、山
道を行くしかない陸の孤島であった。

山と海に挟まれた村の生活は決
して豊かなものではなかった。大人
たちは山を切り開いた狭い耕地で作
物を作り、「磯見漁」「炭焼き」「木挽
き」などの仕事をして、やつとのこと
で生計を立てる毎日。

子どもは小学4年生になると、村
の分校を出て、竹野小学校へと危険
な山道を1時間半かけて歩いていっ
た。この山道、県道とは名ばかりで、
日本海を真下に望む急斜面に沿っ
て、曲がりくねった道が続く。幅は
1メートル足らず。一歩踏み誤れば、
数十メートル下に海が待っている。

「犬しか通らない道」。人々はそう
皮肉つて、「犬(鬼)道」と呼んだ。
「僕は雨の日が一番嫌いです。あ
の坂道を横なぐりに吹きつける雨の

大人気! たまごかけごはんしょうゆ **まるたん** もうお試し 頂けましたか?

モーツァルトを聴かせて天然醸造でじっくり造った国産丸大豆醤油をベースに、本みりん、かつお節の風味をプラス。冷奴、納豆、おひたし、焼きうどん、野菜炒め、うどんのダシなどにもどうぞ! 詳しくはHPで!

しょうゆの花房 www.syoyuhanafusa.co.jp
TEL:0796-47-0003 豊岡市竹野町竹野 **しょうゆの花房** 検索

お昼寝キューピット!?

◆快水浴場百選・日本の渚百選
兵庫但馬 たけの観光協会
兵庫県豊岡市竹野町竹野17-22
TEL.0796-47-1080 FAX.47-1336
http://www.takeno-kanko.com/



ブルドーザーによる掘削作業。すぐ先は奈落の底、断崖が迫る。(西一氏蔵)

中、帰ることを思うと勉強どころではありません」と、ある小学生は、その辛い通学の日々を作文に綴った。

「ここに車が通れる立派な道路があれば」。時代は車社会へと変貌しつつあった高度経済成長期。マイカーブームに乗って、人々は気軽にどこへでも行けるようになっていた。

「このままでは村がなくなってしまう」と、危機感を募らせる住民たち。

「道」が先か、「村の消滅」が先か。大人たちは、吹きつける北風に必死で耐えて通学する子どもたちの姿が、不憫に思えてしかたなかった。

悲願の道

「村の明日、子どもたちの未来のために」。昭和29年1月、新しい年の幕開けとともに、宇日・田久日両地区の役員会議で海岸道路建設の呼びかけが決議された。

「天道」から「県道」。住民の熱い願いは当時の竹野町長を動かし、再三にわたって県との交渉が行われた。

昭和32年、県はその要望に応えるべく、竹野く青井、瀬戸間で着工するものの、危険な工事と財政難から中断を余儀なくされた。

「この70度もある急斜面に道を通すことは夢物語なのか」。ある住民は悲痛なうめき声をあげた。

そんな絶望の淵をさまよう関係者のもとへ、希望の光となる新聞記事の見出しが躍った。

それは、豊岡市と旧久美浜町の府県境の峠道、三原峠の改良工事に自衛隊が尽力したという記事であった。「これしかない」。関係者の誰もがそう思った。当時、県知事を務めていた

故阪本勝知事もその一人であった。「ほろびゆくものはみなうつくしいしかしほろびさせまいとするねがいはいはもつとうつくしい」

これは文人知事として知られる阪本が残した詩文。住民の心の叫びを誰よりも感じていた。

昭和34年4月14日、県知事から陸上自衛隊伊丹千増部隊に向けて、道路整備を要請。知事、住民の熱意は、ついに自衛隊幹部を動かし、申し出は受理されることとなる。ここに都合3期、2年あまりにも及ぶ、死と隣り合わせの大事業が始まった。

命がけの工事

太陽が照りつける昭和35年7月。田久日の港には、竹野町青井く田久日間(延長2.8キロ)の第一期工事にとりかかる自衛隊員の姿があった。

ブルドーザーなどの大型重機は陸路からの輸送ができず、隊員たちは海からの上陸を強いられていた。

但馬エリアの四季彩の旅へ

ジパング倶楽部 ~ジパング倶楽部は、但馬エリアの皆様のおすてきな旅を応援します。~

ただいま **会員募集中!**

日本全国のJRの運賃・料金が **最高3割引!**

※「のぞみ」の特急料金など一部割引にならないものがあります。

男性は満65歳以上の方 女性は満60歳以上の方 ならどなたでもご入会できます。
ご夫婦の場合は、どちらかが満65歳以上なら、配偶者の方は年齢に関係なく一緒に会員になります。

発駅	着駅	ご利用列車	通常	3割引後	おトク額
豊岡	東京	きのさき+ひかり(京都のりかえ)	29,540円	21,220円	8,320円
	博多	はまかぜ+ひかり(姫路のりかえ)	28,740円	20,520円	8,220円

※東京・博多駅までの運賃・料金(往復) ○通常期、普通車指定席利用

「入会申込書をお渡しします。」
養父駅・八鹿駅・江原駅・豊岡駅・城崎温泉駅・竹野駅・香住駅・浜坂駅のみどりの窓口などに設置してありますので、ご自由にお持ち帰りください。

ご入会のお申込は手続きカウンター!

CHALLENGER 16

[挑戦者たち]

但馬海岸道路



人力で浮石除去作業をする自衛隊員。断崖絶壁での作業は常に危険と隣り合わせだった。(西一氏蔵)

眼前に迫りくる断崖絶壁を目の当たりにして、思わず絶句する隊員たち。この険しい場所に道をつなぐ。想像以上に過酷な作業が待ち受けていることを彼らに予感させた。

そんな中、隊員たちを違った意味で驚かせる出来事があった。それは、まるで救世主が現れたかのように大拍手で迎えてくれる地元住民の熱烈な歓迎であった。

200リットル入りの重い燃料タンクも村総出で運ぶ住民たち。地元民の願いがひしひしと伝わってくる行動に、身の引き締まる思いがした。

第一期から三期までの工事に携わった唯一の隊員、西一・元隊員は当時をこう振り返る。

「危険が伴う息のつけない作業が続く日々の中で、ほっとできる瞬間は休日と地元の人たちとの交流でした。よく船を出してもらい、魚貝類を採ったり、海水浴をして遊んだんです。また、お祭りでは化粧をしてももらい、盆踊りを踊ったことはよい思い出として記憶に残っています。日に日にこの村に道を通してあげたという気持ちが高まりました。この過酷な作業を乗り切れたのも、地元の人への支えがあったからです」

自衛隊に課せられた任務は、山肌を削って車が通れる平坦な道とする

ことであった。舗装などの整備は、工事完了後、県が行うことになっていた。工事はまずダイナマイトで堅い岩盤に亀裂を入れることから始まった。その後、人力による削岩、ブルドーザーによる岩石の除去へと続く。

真夏の太陽がカンカンと照りつける中、数十メートルの高さに及ぶ崖での作業。時には爆発後、踏みしめた岩が崩れ落ち、命綱一本で宙吊りになることもあった。ある隊員は、作業箇所点検が終わった途端、3トンはあるうかという岩が肩をかすめて海に落ちていったこともあったという。

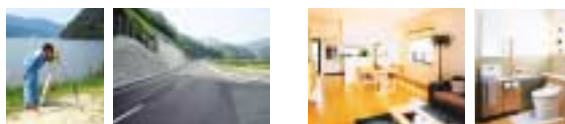
命がけの仕事。激しく変化する工事現場の状況に、隊員たちは悪戦苦闘した。踏み固めた道に岩が崩れ落ちることは、日常茶飯事であった。

「いつも緊張の連続でした。私はブルドーザーでの作業に従事していましたが、海に土砂を捨てる時、崖から落ちる寸前まで行かないといけません。亀裂がないかと先に点検はしていますが、操作を誤って行き過ぎると奈落の底です。元隊員の西は、当時の様子を赤裸々に語った。

そんな工事の最中、西の肝を冷やす事件が起こった。それはブルドーザーが海に転落したという知らせだった。レバーを握る手が震え、背筋にすうーっと冷や汗が流れ落ちた。後

豊かな暮らしをサポートします

新築はもちろん！水漏れやトイレづまりも！
どんな小さなことでもお気軽にご相談ください。



どんなことでもお気軽にお見積り無料！ ☎ 0120-577-406

新築から水回りまで！
**建築なら
全ておまかせ**



●下水道工事もおまかせ!!

- 建築設計
- 建築工事
- 上下水道工事
- 住宅設備工事



信頼と安心の証！
**公共工事
実績多数**

●専門スタッフがサポート!

- 測量
- 土木設計
- 土木施工管理
- 土木工事

有限会社 新栄建測

〒668-0015 兵庫県豊岡市一日市1676-17
TEL.0796-24-6350 FAX.0796-24-9577 <http://www.shineikensoku.com/>

シンケンホーム
[住宅事業部]

